

大平小学校での思い出と未来の私へ

子どもたちに、学校生活の思い出や将来について聞きました。

「大平小学校校歌」

長 嶺 宏 作詞
海老原 直 作曲

■5年生 山口一華さん

Q 大平小学校が休校になると聞いてどう感じましたか？

A 小さい学校だったので楽しく過ごすことができました。休校になるのは悲しいけど前向きに次の学校でも楽しく過ごしていきたいです。

■大平小学校の好きな所は？

A 学年関係なく低学年の頃からお兄さんお姉さんとたくさん遊べて、自然豊かな所が好きです。

Q 学校での思い出は？

A 昼休みにサッカーやドッジボール、トランプで楽しく遊んだことや、くしま学で串間市漁協やアオイファームとに行ったことです。

Q これからの目標は？

A 次の学校に行くのは緊張するけど、みんな優しいので自分から発表したり話しかけていきたいです。将来の夢はまだ決まっていなくても、いろいろなことに挑戦していきたいです。大平小学校に行かなくなることで地域の方々の時間は少なくなるけど、朝会つたら「おはようございます」とあいさつしたいです。

Q どんな学校になってほしいですか？

A 学校を使わなくなるのは寂しいけど、機会があれば行事などで学校を活用して、みんなのために役立ってほしいです。



■5年生 長友優雅さん

Q 大平小学校が休校になると聞いてどう感じましたか？

A 休校になるのは悲しいけど、いろいろな地域のイベントなどがあれば参加して、地域の方々と触れ合いたいんです。4月からの新しい学校に気持ちを切り替えて、友達を作っていきたいです。

■大平小学校の好きな所は？

A 3人で仲良くフランクやドッジボールで遊ぶのが大好きです。いつもみんな仲が良く、校内の木の木から実を採って梅ジュースにしました。

Q 学校での思い出は？

A 棒踊りを踊ったり、遠足で餌肥の城下町で食べ歩きをしたことが特に思い出に残っています。

Q これからの目標は？

A 新しい学校で友達をいっぱい作って仲良くすることです。野球も頑張りたいです。将来の夢は、お母さんが美容師なので、美容師がお花屋さんになりたいです。もしかしたら棒踊りが復活してみんなに見てもらえるようになるかもしれないから、そのときは「大平小学校のこころがよかったんだよ」とたくさん話しをしたいです。

Q どんな学校になってほしいですか？

A 大平小学校には歴史的なものが置いている教室があるから、イベントなどで飾って大事に使ってほしいです。



■4年生 大嶋涼之介さん

Q 大平小学校が休校になると聞いてどう感じましたか？

A 休校になるのは悲しいけど、新しい学校で友達をたくさん作って仲良く遊びたいです。

■大平小学校の好きな所は？

A みんな仲が良く自然豊かで、珍しい虫がたくさんいるところが大好きです。

Q 学校での思い出は？

A みんなで協力して音楽発表会に出たことが特に心に残っています。精一杯持久走大会を頑張ったりもしました。

Q これからの目標は？

A 新しい学校でも大平小学校と変わらず頑張ることが目標です。将来はプロ野球選手になりたいです。地域の方々にたくさんお世話になったので、これからは地域の掃除とかをしてきれいにしていきたいです。

Q どんな学校になってほしいですか？

A 休校になったら本などを他の学校に渡して（寄付して）ほしいです。そしていろんな人たちがこころ（学校）で遊んだり運動してほしいです。

1 聖が丘に 春はきて
若草もえる学舎に
ともに手をとり 励みあう
心にともる あかるい火
母校 大平 栄あれ

2 大平川に 秋はきて
清い流れの 岸の辺に
ともに手をとり 睦みあう
瞳にうつる 雲のかげ
母校 大平 誇りあれ

3 朝夕の いそしみに
六年の月日 重ねつつ
ともに手をとり 結びあう
胸にあふれる わが希望
母校 大平 誉あれ



令和5年度 施政方針 (抜粋)

1年間の市政運営の方針や
主要な施策を示す施政方針。
今年度の施政方針をお知らせします。

はじめに

私は、2期目の市政運営の約1年5カ月間、コロナ禍や世界情勢に伴う物価高騰による市内経済への影響や種々難題に真摯に取り組むとともに、持続可能な市政運営に努めてまいりました。

令和5年度においては、「団結」「継続」「変革」の政治信念のもと、新たなアイディアとさらなる努力により、「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち」の実現に尽力してまいる所存であります。

本市は、来年11月に市制施行70周年の節目を迎えます。歴史の重みを感じ、反省も踏まえながら、いかに子どもたちにつないでいけるか努めなければなりません。私は、地域資源のポテンシャルを最大限に引き出し、磨き上げ、市民に還元できるような努め、市制施行100周年の大きな節目に向けて取り組んでいかなければならないと強く思うところであります。

令和5年度に注力する柱

令和5年度は、市民福祉の向上と経済浮揚を図るため、特に、次に掲げる施策に注力してまいる所存であります。

1点目は、「事前防災まちづくりの推進」であります。

南海トラフ巨大地震などの大規模自然災害から市民の生命財産を守るため、消防署の高台移転を含む防災施設整備や住民避難路のほか後方支援を円滑にする東九州自動車道の整備など、計画的に防災拠点整備を進め、応急・復興機能などの充実を図るためにハード・ソフト両面において事前防災まちづくりを推進してまいります。

2点目は、「ゼロカーボン社会の推進」であります。

県内自治体として初の「串間市ゼ

ロカーボンシティ宣言」、「世界気候エネルギー首長誓約」に基づき、本市の恵まれた自然環境を有効活用しつつ、官民一体となって温室効果ガスの排出を抑制するさまざまな取り組みを推進してまいります。

令和5年度の予算編成については、第六次串間市長期総合計画で定める基本目標の実現に必要な個別施策の推進を行うとともに、SDGsの理念に基づいた地方創生の推進に取り組むこととしたところであります。

令和5年度予算案の概要

令和5年度の一般会計当初予算案は、予算総額が142億円となり、令和4年度当初予算と比較して約6.4%の増となっております。増加の主な要因としては、がんばっどふるさと応援基金推進事業や公営住宅の整備事業の増のほか、消防庁舎整備事業などに取り組むことなどによるものであります。

おわりに

以上、令和5年度の市政運営の基本的な考え方について申し上げます。今、日本は長引くコロナ禍の影響や不安定な国内外の情勢の中にあい、加えて本市は極めて厳しい財政状況下にあります。

しかし、その中においても、全職員創意工夫と努力により、市民の暮らしを守り、持続可能な市政運営を実現してまいります。そして、笑顔の絶えないくしまの未来を切り開くべく勇往邁進してまいります。

「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる
多様性と持続性のまち」の実現に向けて――